THE Y's MEN's CLUB of TOKYO GREEN
The Service Club Of The YMCA
Vol.
2026.11.04
東京グリーン
Chartered 1973
〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

＜ 2026.11＞ BULLETIN 2026 年 7 月～2027 年 6 月

会　　長	樋口　順英
副 会 長	青木　方枝
書　　記	村杉　一榮
会　　計	小仁　恵子
監　　査	柿沼　敬喜
担当主事	熊沢　佳代

国際会長	J・W・エルトヴィク	「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
アジア太平洋地域会長	ラチャン・マニカーン	「アジア太平洋地域を BM で目覚めさせる」
東日本区理事	山下　真	「挑戦なくして進化なし」
関東東部部長	廣田　光司	「地域奉仕活動と YMCA サービスでクラブを元気に」
クラブ会長	樋口　順英	「若々しく、楽しいクラブライフ」

11月

「貧しい人が虐げられていることや、不正な裁き、正義の欠如などが、この国にあるのを見ても驚くな。」コヘレトの言葉　第 5 章 7 節 ＊どこの国のことを言っているのかと思う。為政者の不正と不正義はいつの世にもあるらしい。これは人間の業であり驚くことではない。

2026年 11月例会

日時: 2026 年11月18日(水) 17:30～20:00

場所:東陽町センター

司会: 村杉　一榮メン、受付: 小仁　恵子メン

開会点鐘	樋口　会　長
ワイズソング、ワイズの信条唱和	全　　員
ゲスト、ビジター紹介	樋口　会　長
聖句・お祈り・食事	西澤　紘一メン
卓話	「太平洋を渡った人形たち 日米民間交流の一断面」
卓話者	森下　昌市郎　氏
ニコニコひとこと	全員
ハッピーバースデー	なし
各種報告	樋口　会長　ほか
YMCA 報告	熊沢　担当主事
閉会の言葉・点鐘	樋口　会長

【例会出席率】在籍:13名　10月出席率6/11　55%

出席:10月　（メン6名、メネット0名）　計6名

【ニコニコ】￥6, 000

2026年11月例会　卓話のご案内

卓　題:**「太平洋を渡った人形たち 日米民間交流の一断面」**

―青い目の人形（友情人形）と答礼人形を中心に―

卓話者:　森下　昌市郎　氏【写真下】

※昭和初期にアメリカから日本の学校などに送られた所謂「青い目の人形」とその返礼としてアメリカに送られた「答礼人形」の経緯とその後から、戦前期の日米民間交流の一側面をそれぞれの関係者に焦点を当ててお話しします。



クリスマス例会

日時：２０２６年１２月１６日(水)１６：００～

場所：キリンシティプラス、東京銀座店

中央区銀座３－４－１２　文祥堂銀座ビル２Ｆ

詳細、別途ご連絡いたします。

◆２０２６年１０月例会報告

日　時：2026年10月21日(水) 17:00～20:00
場　所：東陽町センター
出席者:青木、柿沼、小仁、西澤、佐野、樋口、各メン
ビジター:軽部 わか菜 様(東京YMCA 語学事業部)

▲ 活動報告

① 第40回チャリティーラン報告 軽部わか菜様【写真下】



当クラブが支援する「KIDSグリーンクラブ」の窓口の語学事業部を代表し、軽部 わか菜さんより、丁重な支援御礼と,当日の活動につき動画を交え、ご報告をいただきました。来年度もがんばって！

② 国際大会(ペナン)出席報告 青木 方枝メン

9月10～13日、マレーシア・ペナンで開かれた第76回国際大会に参加の青木 方枝メンから報告を伺いました。たくさんの写真により現地での雰囲気がよくわかりました。



【写真上】会長主催晩さん会にて

印象深かったことは、「ブルーミュージック」の理念のとおり、国の垣根を越えてグローバルに交流する場になったことです。民族衣装が鮮やかなアフリカのワイズメンとも交流できました。

IBCのマニラダウンタウンCとも交流ができました。



【写真右】シンガポールのマーライオンの夕暮れ

▲ 報告： 10月以降の例会案

① 12月クリスマス例会 12月16日(水)：
小仁メン、場所探す。

② 1月例会 ：合同例会落語会(まとめ:江東ク)とする。
日時、場所未定

③ 2月例会 2月17日(水)：
卓話者小林勉氏(所沢クラブ会長)

④ 3月例会 3月17日(水)：
卓話者大江浩氏(賛育会活動パート2)

⑤ 4月例会以降
1) 熊本地震災害復興支援報告:熊沢佳代メン
2) (仮)アフリカの生活環境事情:小野健氏

▲ ニコニコ近況報告

青木 方枝メン:(副会長)
世界大会(ペナン)の報告ができてうれしい。

佐野 守メン:(CS)
愛知・名古屋2026アジアパラ競技大会の卓球で教え子が金メダル受賞してうれしい。
これからも障がい者センターを手伝う。

西澤 紘一メン:(聖句・祈祷)
最近、ある講演を聴いて、障がい者を真に理解することはむずかしいことがわかり感銘を受けた。いつか講演者を例会にお呼びしたい。

柿沼 敬喜メン:(監査)
週１回デーサービスの利用を始めた。
手がすこし不自由で、電卓やスマホのキーが押しにくくなった。固定電話を使用している。

小仁 恵子メン:(会計)
主人と長年の希望である上高地、アルペンルートに行ってきた。よかった。

樋口 順英メン:(会長)
元銀行員の知人が「ダンマパダ集成―法句経・真理の言葉―」という本を編訳し刊行した。これは仏教の経典の原本だそうだ。彼は「こんなものが欲しいと思い、私のために作ったものを共有させて頂いた」とのことで、あらためて志の高さに感服した。

▲ハッピーバースデー：



高谷 禎宜メン
古平 邦子メネット
柿沼 澄子メネット

(小仁、樋口 記)

◆「第９４回神田川船の会」催行御礼

- 2026年10月10日（土）、おかげさまで天候に恵まれ神田川船の会を開催できました。
- 参加者は約90名で、ゆったりと、船の中から眺める新ルート（第93回の逆回り）、新鮮な風景を楽しんでいただきました。



【写真上】東京スカツリーが金色のビルに映る！

- 東京YMCA関係方々には、応募取りまとめから当日のテント設営、受付、実施後の収計等バックオフィス業務にご尽力戴きました。厚く御礼申し上げます。
- お客様からいただいたアンケートを分析し、更なる改善に取り組む所存です。
- 今回は、DBC の京都パレスC，熱海Cからも遠路ご参加をいただきました。感謝申し上げます。



【写真上】京都パレスクラブのメンバー（お茶の水）

【写真上】熱海クラブのメンバー（お茶の水）



- 両国での二次会（ちゃんこ料理）でも盛り上がりました。



【写真上】相撲茶屋 ちゃんこ江戸沢 両国総本店にて

- また、この機会を利用し4W4を実施しました。



みんなで船宿三浦屋さん前の広場の清掃を行いました。

【写真左】





【写真上】日本橋川をガイドする早瀬 仁人メン

◆今後の主なスケジュール

1) 11月11日（水） 11月第二例会（Zoom）15:00～
2) 11月18日（水） 11月第一例会（東陽町）17:30～
3) 11月23日（月） 熱海花火大会、大江戸ウォーキング
4) 12月 9日（水） 12月第二例会（Zoom）15:00～
5) 12月13日（日） 東陽町クリスマスオープンハウス
6) 12月16日（水） 12月クリスマス例会
（場所：キリンシティプラス 東京銀座店）16:00～
7) 1月 9日（土） 在京ワイズ新年会（東陽町）
8) 1月10日（日） 半年報提出期限
9) 1月13日（水） 1月第二例会（Zoom）15:00～

（樋口 記）





YMCA コーナー

1. 10月2日「熊本地震被災地支援活動報告会」をオンラインで開催し、約40名が参加した。報告会では、八代市での避難所運営にあたった職員や、八代市の小中学生を対象にした「あおぞらキャンプ」に参加したユースボランティアリーダーが現地の状況を報告した。

   熊本地震緊急支援募金は、10月2日までに6，018，674円が寄せられ、今後も子どもの居場所づくりや避難所運営などを中心に、熊本YMCAと連携した継続支援を行っていく。

2. 10月3～4日、山中湖センターにて「第2回ユニバーサルフェスタ」を開催し、2日間で延べ117名が参加した。

   車椅子の子どもたちをはじめ、様々な背景を持つ子どもたちがクライミングやモルック等のアクティビティを通して交流を深め活気あるイベントとなった。

   また、当日はパラクライマーの平井亮太選手が来場し、クライミングパフォーマンスを披露した。

   開催にあたっては、山梨学院大学障害者スポーツゼミの学生をはじめ、多数の団体に協力をいただいた。

3. ベネズエラ地震緊急支援募金は、多くの個人、団体、企業等からご支援いただき、9月末までに、492，805円が寄せられた。集まった募金は、日本YMCA同盟及びラテンアメリカ・カリブ海YMCA同盟を通じて被災地のYMCAに届けられる。

4. 10月20日より順次、冬期キャンプ・スクールの受付が開始された。スキーキャンプ、水泳、英語などの各種プログラムが準備されている。

5. 今後の主な行事予定

   ・「J.T.スウィフト主事＆ミラー主事墓前礼拝」（横浜YMCA共催）10月24日（横浜外国人墓地）

   ・「早天祈祷会」11月2日（山手センター／オンライン）

   説教：土岐祥子氏（東京YWCA　総幹事）

   ・「第28回愛恵エッセイ」11月13日まで作品募集

   （愛恵福祉支援財団との共催）

   テーマ：豊かな福祉社会を創るために-私たちが今、できること-

   ・「第24回日本YMCA大会」11月27日～29日

   （日本YMCA同盟東山荘）

   テーマ：Evolving Together

   ・「YMCA/YWCA合同祈祷週礼拝」11月12日（山手）

   メッセージ：吉高叶牧師（NCC議長・日本バプテスト連盟市川八幡教会牧師）

   ・「国際協力一斉街頭募金」11月14日　新宿駅周辺

   ・「賛助会年会・アドバイザー会」11月16日

   （アルカディア市ヶ谷）

   講演：株式会社アシックス代表取締役会長CEO

   廣田康人氏

   ・「全国YMCAオンラインチャリティーウォーク」

   11月29日～12月13日

6. 関連団体の動き

   ・在日本韓国YMCA創立 120 周年創立記念式

   11月5日　会場：在日本韓国YMCA

   ・香港中華YMCA創立125周年式典

   12月18日　会場：香港中華YMCA

（クラブ担当主事　熊沢　記）

◆熊本地震避難所運営レポート（by 熊沢メン）



【写真上】現地スタッフ、ＹＭＣＡ職員とともに、

- 7/28に起きた熊本地震での被害により、熊本YMCAが八代市より委託を受け、市内2か所の避難所運営を行っています。
- 2か所の避難者を合計すると、約300人の避難者が避難所での生活を続けています。避難所運営には、全国 YMCA から職員がリレーして現地に赴いています。
- その中、熊沢も10/12～23までの12日間、避難所運営に携わらせていただきました。
- 私が携わった場所は非常に大きな体育館で、223名の避難者が生活しているところでした。
- 被災からまもなく3ヶ月が経ちますが、家屋が全壊された方が多いこと、井戸水文化の残る生活でいまだに水が出ないことなど、今後の見通しがつかない方が多くいらっしゃいました。集団生活からのストレスもあり、小さなことで言い争いも絶えず、そんな仲裁が日常でした。
- 行政とのやり取り、現地スタッフさんとの業務内容の確認…。作業は多岐に渡り、大変な毎日でした。

（クラブ担当主事　熊沢　記）